

図書館だより

9・10月号

丹原高校図書委員会



読書の秋、到来。

昼休みや放課後、図書室で本を選んでみてはいかがでしょうか？

「こころとあたまの、深呼吸。」読書週間10/27～11/9



終戦まもない1947年（昭和22）年、まだ戦火の傷痕が至るところに残っているなかで「読書の力によって、平和な文化国家を作ろう」という決意のもと、出版社・取次会社・書店と公共図書館、そして新聞・放送のマスコミ機関も加わって、11月17日から、第1回『読書週間』が開催されました。そのときの反響はすばらしく、翌年の第2回からは期間も10月27日～11月9日（文化の日を中心にした2週間）と定められ、この運動は全国に広がっていきました。

そして『読書週間』は、日本の国民的行事として定着し、日本は世界有数の「本を読む国民の国」になりました。

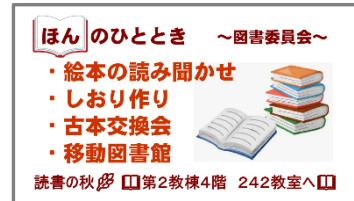
いま、電子メディアの発達によって、世界の情報伝達の流れは、大きく変容しようとしています。しかし、その使い手が人間であるかぎり、その本体の人間性を育て、かたちづくるのに、「本」が重要な役割を果たすことは変わりありません。

暮らしのスタイルに、人生設計のなかに、新しい感覚での「本とのつきあい方」をとりいれていきませんか。

（公益社団法人 読書推進運動協議会のホームページより）

丹高祭(10/26 実施)

図書委員会で「ほんのひととき」を企画しました。「本に親しめる・ゆったり過ごせる空間」をつくり、本が好きな人も、ちょっと休憩したい人も、ふらっと立ち寄れるような、気軽に楽しい企画を目指しました。ご来場ありがとうございました！



絵本の読み聞かせ

お客さん来てくれるかなあ、と担当した図書委員は不安になっていましたが、小さなお子さん、小学生、親子連れの方が来てくださいました。お客さんの反応を見ながら、語りかけるように読んでいました。楽しんでいただけて嬉しいです。また機会があれば、やってみたいです。

しおり作り体験

3年生の課題研究「竹うちわ」班に丹原七夕夜市で余った和紙を譲ってもらいました。多くの子どもたちが来て、オリジナルのしおりを作ってくれました。担当した図書委員も、子ども達との交流を楽しみました。



古本交換会

「あなたの1冊が、誰かのお気に入り」にといった企画でした。今回寄付いただいた本や交換していただいた本がありますので、交換できるコーナーを作る予定です。

移動図書館

図書委員のおすすめ本を展示しました。貸出はありませんでしたが、展示は楽しんでもらえたようです。現在、図書室に展示しています。

